

令和7年度 第3回一ノ宮小学校 学校運営協議会 実施報告書

- 1 日 時 令和7年12月4日(木) 13:40～14:50
(インフルエンザ流行のため11月14日より延期)
- 2 場 所 校長室 及び 各教室
- 3 委員長あいさつ
- 4 授業参観 13:50～14:30

【参観後の感想より】

- 授業を受けているときのこどもたちの姿は、ほとんどの子が静かに聞けていたので、先生の導入の仕方や進め方がこどもたちに合っているのだと感じた。
- 先生とこどもの距離が近く感じられる温かい教室である。
- 先生の意気込みを感じる。
- 特別支援学級の参観時に、先生が一人ひとりの理解度を見ながら丁寧に進めているのを見て、個々にしっかりと目を向けて関わる大切さを感じた。
- 課題で早く解答した子が他の子に教えに行っていたので驚いた。「学ぶ」ということができている。また、相手を思いやる心もできている。
- 教え合いをされていてよいが、こどもが教えっぱなしで終わってよいのか。早くできた子のために、応用問題等を用意しておいてはどうか。
- 高学年ほど問題が難しくなるので、複数の先生が手厚く指導しているのはいいことである。
- 算数で習熟度別もよいだろうが人的配置が必要である。
- 各学年でそれぞれこどもの関心が向くように工夫されていた。
- 先生の問いに対して、多くの児童が挙手をし、指名されなかった児童が「一緒です」と答えるなど、教室の一体感が育まれていてよい雰囲気である。しかし、多くの児童が挙手をするなか、一人でも多くの児童に答えてもらうには時間が足りず、先生方の工夫が必要だと感じた。
- 九九で9より大きい 3×12 などを考えており、昔とは学び方が違うと感じた。
- 理科の実験でガラス管とゴム栓のつなぎ方が危なかった。理科の実験では、人手があるとよい。
- 落ち着かない児童も何人か見受けられたので、一人の先生では授業を

進めるのは難しい。先生の支援に感心した。

○黒板の横の時間割に、日本語と英語の表記がされている学年があり、小さいころからアルファベットになれるという感覚が芽生えてよい。

○こどもたちの生活に対して、チャーム席ができたポイントを加算するなどよい取り組みである。

○児童の椅子に名前があり、分かりやすい。

○階段の一段一段に九九が表示してありよい。

○挨拶ができていた。

5 連絡

第5回学校運営協議会

日時：令和8年1月20日（火）19：00～

場所：第2職員室

内容：学校評価について

6 教育委員会 アドバイザー 欠席